

第26回国民文化祭・京都2011プレイベント

妖怪に出会う

鬼に出会う

お

シンポジウム in
ふくちやま2010
Oni symposium in Fukuchiyama

日時

2010年

11月7日(日)

入場無料 13:00～

場所

福知山市厚生会館

京都府福知山市字中ノ170-5

TEL0773-22-4955

JR福知山駅より徒歩10分

※駐車場は会場横のグンゼ(株)福知山配送センター駐車場をご利用ください。(台数に限りがあります)

問い合わせ

日本の鬼の交流博物館

〒620-0321 京都府福知山市大江町仏性寺909番地

TEL&FAX0773-56-1996

内容

12:30 受付開始

13:00～
13:20 オープニングスライド
「大江山の酒呑童子」
(福知山演劇サークル わっぱ)

13:30～
15:00 講演「妖怪画の系譜」
香川雅信さん(兵庫県立歴史博物館学芸員)

15:10～
15:50 パネルトーク「妖怪画の中の鬼」
パネリスト 香川雅信さん
(兵庫県立歴史博物館学芸員)
パネリスト 秋庭 裕さん
(大阪府立大学人間社会学部教授)
コーディネーター 八木 透
(世界鬼学会会長 佛敎大学歴史学部教授)

16:00～
17:00 鬼の芸能への招待
石見神楽「大江山」
美穂神楽団(島根県邑智郡邑南町)

※要約筆記あり(神楽を除く)。手話を希望される方はご連絡ください。



シンポジウム in
ふくちやま2010
Oni symposium in Fukuchiyama

日時
2010年11月7日(日)

入場無料 13:00～

場所
福知山市厚生会館

京都府福知山市字中ノ170-5
TEL0773-22-4955

JR福知山駅より徒歩10分

※駐車場は会場横のグンゼ(株)福知山配送センター駐車場をご利用ください。(台数に限りがあります)

内容

※要約筆記あり(神楽を除く)。
手話を希望される方はご連絡ください。

12:30～	受付開始
13:00～ 13:20	オープニングスライド 「大江山の酒呑童子」 (福知山演劇サークル わっぱ)
13:20～ 13:30	開会挨拶
13:30～ 15:00	講演「妖怪画の系譜」 香川雅信さん (兵庫県立歴史博物館学芸員)
15:10～ 15:50	パネルトーク「妖怪画の中の鬼」 パネリスト 香川雅信さん (兵庫県立歴史博物館学芸員) パネリスト 秋庭 裕さん (大阪府立大学人間社会学部教授) コーディネーター 八木 透 (世界鬼学会会長 佛教大学歴史学部教授)
16:00～ 17:00	鬼の芸能への招待 石見神楽「大江山」 美穂神楽団 (島根県邑智郡邑南町)
17:00	閉会挨拶
17:10～	世界鬼学会総会 会長挨拶 議事 平成21年度事業報告並びに決算 平成22年度事業計画並びに予算

■ 問い合わせ先／日本の鬼の交流博物館
〒620-0321 京都府福知山市大江町仏性寺909番地 TEL&FAX 0773-56-1996

第29回大江山酒呑童子祭り

●福知山演劇サークル わっぱ

1966年、誕生。創立45年目を迎える。大小あわせての過去の公演回数は400回を超える。「家族揃って観劇」をテーマに自治会、敬老会、子ども会、施設慰問公演等地域に密着した演劇集団として市民に親しまれている。スライド影絵による福知山地方の民話を取り上げての作品も19本に達している。主な上演作品は「三年寝太郎」「夕鶴」「陽気な地獄破り」「(創作)堀いね物語」「(創作)享保福知山騒動」「煙が目にしみる」等。

京都府演劇祭(現京都演劇フェスティバル)で最優秀賞、大賞等6回受賞。第2回国民文化祭(1987年)で京都府初の代表として熊本県へ派遣された。



●香川雅信(かがわ まさのぶ)さん

1969年、香川県生まれ。1999年、大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。2006年、総合研究大学院大学文化科学研究科(国際日本文化研究センター)にて博士号(学術)取得。現在、兵庫県立歴史博物館学芸員。

主要著書

『江戸の妖怪革命』(河出書房新社、2005年)

『図説 妖怪画の系譜』(共著、河出書房新社、2009年)



●秋庭 裕(あきば ゆたか)さん

同志社大学文学部卒 大阪大学大学院博士課程後期単位修得退学。博士(人間科学)。現在、大阪府立大学人間社会学部教授。専門領域、文化社会学、宗教社会学。

特に、日本及び東アジアの宗教を研究。近年は「グローバリゼーション時代における日本型新宗教の可能性についての比較社会学的研究」を継続中。研究方法としてフィールドワークを重視。

主要著書

『新世紀の宗教』(共著、創元社、2002年)

『霊能のリアリティへ』(川端亮と共著、新曜社、2004年)

『宗教を理解すること』(共著、創元社、2007年) 他多数



●八木 透(やぎ とおる)

1955年、京都市生まれ。同志社大学文学部文化学科卒。佛教大学大学院文学研究科博士後期課程単位修得満期退学。現在、世界鬼学会会長、佛教大学歴史学部教授。京都生まれの京都育ち。生粋の京都人。祇園祭鉦町で、近世から続く白生地問屋の長男の家筋に生まれる。民俗学を志してからは、京都人であることを誇りに思い、京都人であることを売りにするようになる。

専門領域は、日本・アジア地域の家族、特に夫婦や親子関係の歴史とジェンダーに関する領域及び日本の民俗信仰や民俗芸能に関する領域。

主要著書

『愛宕山と愛宕詣り』(編著、京都愛宕研究会、2003年)

『京都愛宕山と火伏せの祈り』(編著、昭和堂、2006年)

『日本の民俗7 男と女の民俗誌』(共著、吉川弘文館、2008年)

『日本の民俗信仰』(共著、八千代出版、2009年)



●美穂神楽団(みほかぐらだん)

地元に古くから伝わる神楽を傳承しようと1963年に再結成。県境にあることから当時の広島県美土里町(現安芸高田市)の「美」と島根県瑞穂町(現邑南町)の「穂」とをとり美穂神楽団とする。団員不足に悩まされながらも、近年、若者が入団するなど週2～3回の練習を重ね、年間25回程度、大会や秋祭り、イベント等に出演し活発な活動を展開中。所在地、島根県邑智郡邑南町。

石見神楽「大江山」のあらすじは……

一条天皇の時代、丹波の大江山に酒呑童子という悪鬼が多くの手下を従えてたてこもり、都はもとより、付近の村里に出没し良民を苦しめるので、時の帝は武勇の誉れ高き源頼光に悪鬼退治を命じました。頼光は家来の四天王を従え、山伏修験者に姿をかえ大江山に向かいます。途中、一行は参詣の神から神酒を授かり、囚われの身となっていた紅葉姫の案内を受け童子の屋敷へと向かいます。

一行は言葉巧みに童子屋敷に入り童子たちに酒を飲ませ、酔い潰れた頃を見計らって切りかかり、大激闘の末、見事に悪鬼たちを退治します。



■開催日時 平成22年10月31日(日)午前10時～午後3時
■開催場所 北近畿タンゴ鉄道「大江駅」前及び大江山酒呑童子の里